

ワーカーズコレクティブ
NPO法人 W.Co



たすけあい磯子

会報
NO.20

発行日 2015年5月17日
発行責任者 山田圭子



「たすけあい磯子」は
人と人との出会いやつながりを大切にしながら
自分たちの住む地域の中で安心して生活できるように
互いに支えあう「たすけあいの輪」を広げたいと願って
活動しています。



今、あなたのために 何時か、私のために

—たすけあい磯子スローガン—



もくじ

理事長挨拶 山田圭子	1
活動報告 ・4月～6月	2
ワーカーより 貴の仕事をしてくる事 塚田久美子	
・7月～9月	3
・10月～12月	4
ワーカーより 地域に根ざした介護 根本麻理子	
・1月～3月	5
ワーカーより 小川厚子	
デイサービス二周年	6.7
管理者：廣瀬喜美恵 送迎スタッフ：山田喜之 フロアスタッフ：千原和充 調理スタッフ：山下弥弓 看護師：中村和子	
ご利用者の作品	8.9
奥山エイ子/山崎代貴/鳥羽曠代/大友セイ/若林三枝	
コミュニティ	10.11
・交流会・CCラボ・クリスマス会	
資格とりました	12
新メンバー紹介	13

☆表紙は朝妻セツさんによるパステル画です



2014年度を振り返って

理事長 山田 圭子

私たちの活動のひとつとして、コミュニティ・広報事業が中心となりこれからの地域福祉を考え、洋光台を元気にする企画「ルネッサンス in 洋光台」に参画しました。「物づくりと交流」というテーマでメンバーの得意な物づくりを地域の方と楽しみ、普段あまり会えないメンバー同士や地域の方々との交流もはかれました。そして地域に『たすけあい磯子』を、ほんの少しですが知って頂く良い機会となりました。私たちはこの交流を大切に次の一歩へと繋げていきたいと思います。そして、迫りつつある高齢化の進展に向けて地域包括ケアシステムの構築が進んでいます。これは、介護保険制度を持続可能なものにしていくことで、可能な限り住み慣れた地域でこれまでと変わらない生活を続け、最後までその人らしい人生を送ることができるかとされています。その為に、『たすけあい磯子』が地域の拠点となり貢献できるよう頑張ってまいります。



今年度の活動報告もご利用者向けのお誕生日カードと共にお届けします。
カード作成はワーカー百々順子です。

4月

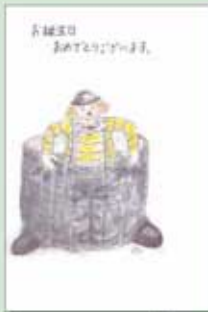


桜

- ◆デイサービスステディの家オープン1周年
あつという間の1年でした。日ごろのお礼に
記念の紅白饅頭をご近所の方にも配りまし
た。今年度から通常規模事業所から小規模事
業所に変更になりました。
- ◆18日(土) 定例会 出席者26名

5月

- ◆18日(日)
総会 出席者32名
委任状16名
- 司会:岸 議長:剣
書記:本村・山中
議事録署名:伊藤・横田
受付:千頭和・塚田
- 定例会 出席者29名



ピエロ

○会報19号発行



第13回総会 今回は役員の
改選がありました。
伊藤さん、早見さん、林さん
お疲れさまでした。

再任:山田・小川・森・黒澤・段
新任:勝山・塚田・山崎

6月



ミヤコフスレ

- ◆21日(土) 定例会 出席者31名
○CCラボプロジェクトメンバー決定
小林(知)・田中(由)・平尾・藤田・諸星
- ◆25日(水) 通所介護集団指導
- ◆28日(土) 『感染症研修』



講師:佐藤大輔先生



毎年恒例の佐藤大輔先生の
感染症研修0-157と皮膚
疾患、高血圧について教わ
りました。

サ責の仕事をしてきて思う事

サービス提供責任者
塚田 久美子

20周年の時に4人だったサービス提供責任者
(サ責)が現在は5人で私以外は代わりあっています。
おかげ様で、ご利用者が段々と増えてきました。
内・外部から新件の依頼が来た時には、なるべく
受ける様にしています。しかしワーカー不足の
為、対応出来ない場合はお断りする時もあります。
ワーカーが定例会の日や月末集計時にワークの事
で相談や報告、質問された時にはどんなに忙しく
てもなるべく耳を傾けて話を聞く様に心掛けてい
ます。
サ責の仕事は、とてもやりがいのある仕事です。
『たすけあい磯子』が、もっともっと地域に根差
してゆく様、頑張っていきたいと思っています。

7月



ブルーベリー

- ◆13日(日) 交流会下見 小田原
○交流会担当チーム決定
岸・剣・中村(春)・廣瀬・根本
- ◆19日(土) 定例会 出席者20名
エンディングノートの
作り方勉強会
NPO法人トータルライフサポ
ート理事長 三国浩晃さんを迎えて
成年後見人制度について教えて
頂きました。



講師:三国浩晃さん

※『エンディングノート』と
は自分にもしものことが
あった時の為に、伝えてお
きたいことをまとめておく
ノートの事です。



8月

- ◆23日(土) 定例会 出席者26名
『たすけあい磯子』としての
働き方 学習会

かき氷



『たすけあい磯子が』どのよ
うな経緯で設立されたのか
成り立ち、歴史などを振り
返り、『たすけあい磯子』と
しての働き方を再確認しま
した。

○ワーカー募集のチラシを
生活クラブ配布物に折り
込んでもらいました。

9月

りんどう



- ◆8日(月)
『パーソナルカラー講座』

デイサービスにて、『W.Co
プラスワン』による【あな
たに似合う色をみつける
パーソナルカラー講
座】を行いました。
自分の好きな色と、
似合う色の違いなど
を知ることができ、
大変好評でした。



- ◆20日(土) 定例会 出席者25名



講師:堀江尊子さん

定例会前に腰痛軽減対策に
堀江さんを迎えて骨盤体操
を行いました。普段使わない
筋肉を伸ばしたり使ったり、
日ごろの運動不足が露呈し
ました。



- 生活クラブへの
ワーカー募集の
チラシ配布2回目、
3回目

デイサービスの飾りより



七夕飾り



壁面 あじさい



金魚のモビール

10月



ムラサキシキブ

- ◆5日(日) 交流会 小田原かまぼこの里見学 台風の為、ワーカーのみで決行
- ◆14日(火) 訪問介護 公表制度訪問調査
- ◆15日(水) 居宅支援 公表制度訪問調査 障害者総合支援 実地指導
- ◆18日(土) 定例会 出席者28名
- ◆21日(火) 通所介護 公表制度訪問調査
- ◆28日(火) 中間監査



○デイサービスのネームバッジを作り、首からぶら下げたものから変更しました。

地域に根ざした介護

ケアマネジャー
根本 麻理子

洋光台のこの五丁目に越してきて早いもので、二年が過ぎました。

ちょうど越してきたときに近所の方の居宅介護支援を担当することになりました。

その後その方は私たちのデイを利用することになり、ワーカーの皆さんにもお世話になりました。

先日その方がお亡くなりになり、皆でお線香を上げさせて頂いた時に家族の方から、「近くの皆さんに来ていただいて、涙を流していただけて、父は幸せだったと思います」との言葉を頂きました。

そのとき私たちはこのような小さな結果を積み上げていって、少しずつこの地域の介護の支援の一部を担えるようになるのかなと思いました。これからも皆さんと力を合わせて、介護のお仕事をしていきたいなと思いました。

11月



コスモス

- ◆5日(水)~9日(火) Cコラボ参加



来て下さった方に、ネームバッジよりも小さいバッジを配りました。



- ◆15日(土) 定例会 出席者28名

- ◆22日(土) 救急救命研修



2年に一度の必修研修。磯子消防署洋光台消防出張所の佐藤さん。AEDはアナウンスに従って使えばいいので、必要な状況がきたら、勇気を持って使ってください、と指導頂きました。

12月



椿

- ◆14日(日) クリスマス会 11:00~14:00
於 洋光台三丁目会館
利用者 33名
ワーカー29名



- ◆20日(土) 大掃除 定例会 出席者27名

昨今増えたマネーカードやポイントカードの取り扱いについて話し合いました。

1月



- ◆4日(日) 介護福祉士試験直前対策 講師:佐藤大輔先生

- ◆24日(土) 定例会 出席者20名
ミニ研修 「認知症について」
グループ討議 「調理ワークの疑問や問題点について」

南天

2月



水仙

- ◆21日(土) 定例会 出席者33名

ミニ研修 「重度訪問介護について」 コミュニケーション方法などを学びました

グループ討議 「次年度に向けて、交流会・クリスマス会について」

3月



- ◆21日(土) 定例会 出席者28名

ミニ研修 「排泄器具について」 ポータブルトイレ、パット・おむつについて

ニオイスマレ

W.Co共済事務担当
小川 厚子

ワーコレ共済(休業補償・福利厚生)・健康診断・神奈川県共同募金会からの受配申請などの手続き事務をさせていただいています。毎回パターンが違って悩んだり、年に一度の申請で思い出せなかったりを繰り返しながらも「石の上にも三年」とはよく言ったもので、徐々にですがわかってきたような気がします。

それと同時に「これが『たすけあい磯子』の働き方」と思えたのは、周りの方に納得いくまで聞けること。しっかり教えて頂けると安心して仕事につながる。もちろん失敗したことも色々ありますが、皆さんにカバーして頂きながら、今日まで続いています。

デイサービス飾り作り

ご利用者と一緒に季節にちなんだ作品を作っています。



七五三にちなんで壁に着物と千歳飴の装飾を



毛糸のぼんぼんで作った千支の羊

折り紙で作った吊るし雛



祝 二周年

充実した機能訓練とレクリエーション、入浴もでき、美味しい食事のあとに



お茶をしながら、ご利用者同士の交流を深めていただく、和やかな雰囲気の特徴のデイサービス『テディの家』です。



管理者 一廣瀬 喜美恵一

デイサービス『テディの家』は今年3回目の春を迎えました。スタッフ全員が未経験の為、緊張と試行錯誤の1年目。一步前進と実感できた2年目。そして今年は介護保険の大きな改正を受けて、試練の3年目となりそうです。

訪問介護ヘルパーの経験を活かし、働く場を増やそうと始めた通所介護事業ですが、山あり谷あり、色んなことを一つ一つ乗り越えてここまでやってきました。また種が芽を出し、根を張り、大きく育っていくように、『たすけあい磯子』が始めたデイサービス『テディの家』も地域にしっかりと根を張って葉を上げらせ、皆様の憩いの場となるように成長させていきたいと思っております。



2015年4月、家主だった今井様が遊びに来て下さいました。103歳を迎えられ、ますますお元気なご様子。10月の再会をお約束。

調理スタッフ 一山下 弥弓一

デイサービス『テディの家』オープンから3年目に入りました。調理部ではご利用者に「食事が楽しみ」と言ってもらえる様な食事作りを常に心がけて参りました。給食サービス等を使う施設が多い中独自にメニューを考え、食材も自分達で選び家庭で作ると同じ様に一から手作りをしている事は、私達の自負する所です。

この2年間スタッフ各々、切磋琢磨してきましたが「テディの食事はおいしい」というお言葉が届く事もあり、そんな時は本当にうれしくやる気が倍増します。

今後もっと旬の食材を多く取り入れ「季節」を感じて頂けるメニューを増やす等努力して、今以上にご利用者に喜んで頂ける様に調理部一同頑張っております。



天窓の採光を利用したすがし絵。日よけも兼ねています。

送迎スタッフ 一山田 喜之一

デイサービス『テディの家』を開所する際にドライバーとして関わり、約2年が経ちました。

私は昨年ヘルパーの資格を取り、ご利用者の送迎時の移動等安全に心掛けております。

ご利用者の大切な命をお預かりしているの、安全第一に運行しております。

曜日により送迎の人数に差がある為、時間的に厳しいときもあります。そのような中ご利用者の暖かいお言葉に元気をいただき、これからも焦らず事故のないよう安全運転で“がんばって”行きたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。



ワーカーの家で収穫された梅のへたを漬れた手つきで取って下さいました。夏にはひんやり梅ジュースをご提供!

フロアスタッフ 一千頭和 充一

デイサービス『テディの家』を開所から2年が経ちました。

『テディの家』の特色としては何と言っても、手作りの美味しいお食事と工夫をしたレクリエーション、機能訓練それとお風呂です。

ご利用者から「食事が美味しかった」「デイサービスに来るのが楽しみ」といった言葉をいただく嬉しくなりますが、レクリエーションや趣味の時間では色々な方がいらっしゃるの1つのプログラムで全員の方に満足して頂くのは難しい事もあります。

『テディの家』では、ご利用者が家庭的な雰囲気の中で楽しく安心して過ごしていただく事を基本にしています。一人ひとりのご利用者に対して満足して頂けるように、これからもスタッフ全員で努力してまいります。



小さいながらも庭で採れたゴーヤ。もちろんお昼に活用です。

看護師 一中村 和子一

ここは小規模型デイサービス。ご利用者の年齢も八十歳過ぎ、戦いの厳しい時代を生き抜いて来た人達。だからこそ施設内でも、常に前向きで一日のスケジュールも楽しく、真剣に取り組む姿勢は素晴らしい。更にお互いが、相手を思いやるやさしい心にふれ、ご利用者の皆さんから学ぶ事が沢山ある事に気付かされます。

ご利用者の楽しみの一つに昼食の時間。食欲をそそる盛り付け・栄養のバランス・一人ひとりに合わせた量・好み等、手作りならではの味に満足の様子。「おいしかった」「ここでの食事が一番よ」と誰もが完食されます。スタッフの方とも信頼関係が厚い。私自身、楽しく働ける者の一人として誇りに思います。



鬼は外！福はうち！男性二人が鬼になってくれました。優しく投げたね。

奥山エイ子さんの作品



ぬり絵とは思えないほど、凝った配色、濃淡、影まで細かい彩色です。
奥山さんはこの春、入所されました。「お相手との会話がとぎれないように、お互いに共通の話題をもつことで楽しくいられる」と誰に対しても同じ姿勢で向き合い自然な会話につとめていらつやるそうです。入所前に作品をおかりしました。



山崎代貴さんの作品

棒針で編まれたセーター・ベスト。自分サイズの素敵なセーターもデザインに飽きたらほどこいて、新たな作品に生まれ変わります。



鳥羽暎代さんの作品



南天の木にふうせんがずらの種で作ったお人形



紬のPATCHワークで作られた急須。本物のようです。

古布(こふ)で作られたお地藏さん



大友セイさんの作品

木画。木片を組み合わせ、木肌を活かして装飾した田舎屋。写真からおこして一年かけて製作されたそうです。

若林三枝さんの作品

若林さんは多趣味で、リボンレイ・PATCHワーク・編み物・鎌倉彫など、ご友人と楽しみながらたくさん作品を作っています。



鎌倉彫り



PATCHワークで作られたコーヒーカップ



PATCHワークのバッグ

交流会 2014年10月5日(日)
小田原かまぼこ工場見学

当日は悪天候で、安全の為ご利用者には、前日中止の旨をお知らせしました。バスはキャンセルできないので、参加できるワーカーのみで行って来ました。



雨風で景色を楽しむこともできませんでしたが、予定していたバイキングビュッフェを満喫。



洋光台サンモール商店街に設置されたCCラボ「ルネッサンスin洋光台」において洋光台を元気にする企画に「物作りと交流」と題して参加しました。デイサービスの調理部に協力してもらい、炊き込みご飯・豚汁を提供し、日替わりでワーカーの得意な物作りをしながら、地域の方だけでなく普段関わりのないメンバー同士の交流にもなりました。



CCラボ 2014年11月5日(火)～9日(日)



壁にはデイサービスの作品や紹介、たすけあい織子の年表などを掲示しました。



折り紙



ガラスミルフィーユ

今回も余興、飾りつけ、調理の三班に分かれ、時間に限りがある中、ワーカーが工夫を凝らしました。



テーブル対抗ゲームやビンゴゲームを楽しみました！



余興は南京玉すだれと手品

地域の方やご利用者も立ち寄ってくださり、物作りに参加したり、お茶を飲んだり、デイサービスの食事の写真に「美味しそうね」と声をかけて下さったり、ワーカーもワーカーの間をぬって楽しめました。夕方にはお子さんも遊びにきて、リボンレイなどに挑戦。折り紙作りも盛況でした。大人の方はガラスミルフィーユのアクセサリー作りを楽しんでいただきました。

リボンレイ



エコクラフト



ポーセリンアート



クリスマスカード作り

最終日にはバザー、子供向けに魚釣りゲームを行いました。バザーではたくさんのご利用者に品物を提供して頂きました。この場を借りてお礼申し上げます。またバザーの売り上げは11月末に行われた、復興支援祭りにて寄付とさせていただきます。

クリスマス会 2014年12月14日(日)
於：洋光台三丁目自治会館



かまぼこ工場見学はそこに、お土産を買って、早々に帰路についたプチ旅行でした。



- メニュー
- ・グリーンシチュー
 - ・チキンロール
 - ・コールスロー・パン
 - ・フルーツ



今回はケーキではなく、次年の千支羊を模した干菓子



会の最後にワーカーの紹介をさせていただきました。



今年度も
いろんな資格取得に挑戦しました！



認知症ケア指導管理士

高齢化社会となって、またたくまに超高齢化社会と言われる様になりました。現在では老老介護から認認介護(認知症の人が認知症の人を介護する)と言う言葉が聞かれる様になり、認知症介護の問題は避けて通れないのが現実となっています。認知症の代表的なものに、アルツハイマー型(50%)、脳血管性障害(30%)がありますが、この他に何十種類もあり症状は様々で一人一人違ってきます。

発症すると除々に進行し、介護負担も大きくなって来ます。認知症という疾患の特性を知識を得る事によって、少しでも認知症の方の症状や心を理解することが出来たらと思ひ勉強して見ました。

認知症の中核症状(記憶力の低下、失語、失認、実行機能の低下)は現在の医学で軽減することは出来ませんが、認知症の方の行動心理症状(不安感、不快感、混乱、身体的不調、ストレス)はケアの方法や寄り添い、理解することによって心理的不安を軽くする事が出来るのを学びました。認知症になってもその人らしく生きられる事へのお手伝いと、そしてご家族の方の負担を少しでも軽くするアドバイスが出来れば幸いと思っています。

—中村 美津江—

介護福祉士

私が試験を受けるきっかけになったのは、ある方から「介護福祉士の資格を取ったら？」と勧められた事でした。まずは「過去問」と「ワークブック」を購入し、何度も読み返しました。そして模試を受け、苦手科目を頭にたたき込みました。年明け1月、佐藤先生の講義を受けて試験に臨みました。お蔭様で合格する事ができました。これからは、学んだ事を少しでも仕事に活かしていこうと思います。よろしくお願ひ致します。

—平尾 京子—

介護支援専門員

身近にいる人がアルツハイマー型の認知症です。色々な事を経験して介護が出来たらなぁという気持ちと洋光台地区が年々高齢化してきて、何か私の役に立つ事はないかなと思ったのも、きっかけです。ヘルパーの仕事をして12年目を迎え、サービス提供責任者の仕事も何年かしてきましたが、ケアマネの仕事もやってみたいと思ひ資格をとりました。最初は頼りなくて大丈夫かなと、きっとと思われると思いますが、先輩の方々に教わりながら段々と知識を増やし少しでも役に立つ様に頑張っていきたいと思ひますので、よろしくお願ひ致します。

—塚田 久美子—

たすけあい磯子にようこそ♪



大浜 永吉 さん 🍀

趣味・特技 マージャン、将棋

自己PR 体がでかいことは長所にも短所にもなりますが、いつもポジティブに考えています。力仕事はおまかせください。

抱負 会員の皆さんと仲良くコミュニケーションを取りながらガンバリたいと思ひます。



募集中!



ワーカーを募集しています



遠くの親戚より近くの他人。困った時は「お互い様」と助け合い…。あなたの経験・知恵・優しさを困っている人と自分の為に空き時間を活かして、一歩踏み出し、地域の中で活かしませんか？

料理が得意、掃除が得意、運転が好きな方、デイサービスに興味のある方大歓迎！未経験の方でも人と接することが好きな方お待ちしております！

賛助会員を募集しています

身近にこんな援助があつたらと、生活の中から生まれてきた『たすけあい磯子』です。高齢の方、病気や障害がある方、その家族やその他手助けを必要とする方に対して、家事・介護・育児等の生活支援サービスを、多様な利用者のご要望に合わせて提供しています。地域の中でお互いが助け合い、支え合いつつ年をとっても障害をもつても、安心して心豊かに自分らしく暮らしていける地域社会を目指し「たすけあいの輪」を広げて行きたいと思ひます。このような私たちの活動の趣旨に賛同し、後援いただける方を広く募っております。ぜひともご理解とご協力のほどお願ひいたします。賛助会員は交流会の参加などができます。